DIARIO No. 2427 S. Paulo 13 de Março de 1941 NOTICIAS DO BRASIL Redação e Administração Rua Fagundes, 196 - Caixa H

伯剌西爾時報
發行所 伯西剌爾時報社
聖市ファグンデス街一九六
電話七—四六七〇
社長 黒石清作
購讀料（一ヶ年 六十粁 半ヶ年 三十粁）
珈琲 サントス四號 一粁 二五〇 一等七號 一六、〇〇〇
爲替 對日 四、六七〇 五、六七〇
爲替 對米 一九、七七〇 二〇、〇五〇
對英

米今や實質的參戰

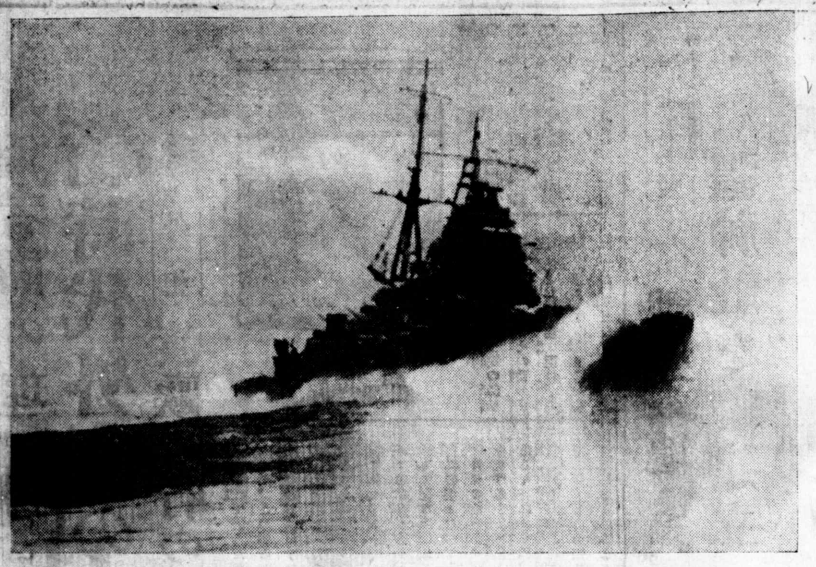
先づ英希へ武器讓渡
支那へも援助強化せん

ルーズベルト大統領 武器貸與案に署名終る

【ワシントン十一日同盟】ルーズベルト大統領は 十一日午後二時半、問題の武器貸與案に署名を終へ、直ちにイギリス、ギリシヤ兩國に對する現在兵器の讓渡を許可する行政的手續きを採つたが 午後四時から開かれた新聞記者團との會見に於し 先つ 今日陸海軍省 承認を得 最初の武器貸與法案に含まれる軍需品中の大部分は 英國へ引渡 れ 若干のものゝ ヒヤに貸與される事となつた と言明した 然して

支那も矢張り援助を受けるか

との質問に對しては さうなる事と考へてゐる 然し、今日はこれ以上答へる事は出來ない と明答を避け、更に對英貸與武器の輸送並びに護衛に就ても同樣明かにしなかつた、第一回の援助は、非常に大量のものではなく、且つ海軍委員會の管理する商船援助は、含まれてゐない事を示唆した、一方武器の現實的引渡しの時期如何、との質問に對しては 未だ何等の準備を進めてゐない と、簡單に答へ、既に樹立し



【ワシントン十一日同盟】ルーズベルト大統領は、十一日 武器貸與法案實施の爲め、十二日七十億ドルの豫算を要求するメッセージをレイバーン下院議長に發附する旨發表する

來年度も米、追加豫算請求か

ルー大統領・記者團に語る

【ワシントン十一日發】（UP電）ルーズベルト大統領は、十一日と同時に、次の如く語つた

議會の記者團會見の席上、對英武器貸與法案實施の爲め、十二日七十億ドルの豫算を要求するだらう、然しても七十億ドルの豫算額は、本會計年度中の必要を充して餘りあるものである

獨機編隊 ポーツマス猛爆

【伯林十一日發】（TO電）獨空軍司令部發表

獨空軍大編隊は英の軍事軍港ポーツマスへ六時間餘に亘り連續猛爆を行ひ、要港、ドックをメチヤ〳〵に破壞し、火焰天に沖してゐるのが遠方より望見された

日・泰・佛の交換公文書發表

【東京十二日同盟】日、泰、佛交換文書全文左の通り

松岡大臣發ワラワン殿下宛書翰

書翰を以て啓上致し候 陳者大東亞に於ける平和の維持は帝國政府の最も關する所に有之、從つて帝國政府は帝國との間に千九百四十年六月十二日の條約に依り、更に緊密となり特殊關係を有する泰國政府にしてこれを受諾せらるゝに於ては帝國政府は右停戰案に依る本件紛爭の解決が決定的にして且つ鞏固と得るものなる事を泰國政府に對し保證する用意有之候 他方帝國政府は泰國政府が大東亞に於ける平和の維持、特に帝國政府及泰國間に於ける善鄰友好關係の確立強化に關し將來緊密關係の增進に努力せられ、且つ日本國に對し直接又は間接に對抗するが如き性質の政治上、經濟上又は軍事上の協力を差控ふべきものと了解し候 右貴大臣に於て御同意の旨御回答相成候 帝國政府は本書翰及貴翰を以て確定的合意成立したるものと認め候 本大臣は玆に重ねて殿下に向つて敬意を表し候 敬具

昭和十六年三月十一日

外務大臣 松岡洋右

ワラワン殿下 ワンライ・タイヤコン殿下發 松岡大臣宛書翰

書翰を以て啓上仕候 陳者本日附貴翰を以て貴大臣は左の如き御通報相成候

（往翰文挿入）

本使は右通報を敬んで本國政府に傳達仕候 帝國政府は大東亞に於ける和平の維持の基礎に關する泰國政府の意向を了承し、且つ泰國政府が大東亞に於ける和平の維持に關し帝國政府と緊密なる關係を有する事を滿足に存じ候 本使は玆に重ねて殿下に向つて敬意を表し候 敬具

昭和十六年三月十一日

泰國首席全權 ワンライ・タイヤコン

日本帝國關停委員 外務大臣 松岡洋右殿下

（傍點分電又切れ）

武器貸與案に基き 米、七十億弗の豫算要求
十三億弗は議會の協贊不要

【ワシントン十一日同盟】武器貸與法案は、十一日ルーズベルト大統領の署名を得て、愈々正式成立を見たが、これより先きルーズベルト大統領が本法に基き、直ちに議會に要求する豫算額は、七十億ドルと發表された、ルーズベルト大統領が法案の中立に關する豫算を發表した事は對英援助の具體的方法が既に決定されてゐる事を物語るものと見られてゐる

泰、佛印全權 暫らく東京に滯留
調停事項の條約化行ふ

【東京十二日同盟】泰佛印國境紛爭東京調停會議は、十一日の署名を以て一應終了を告げたが、愛染を見た調停條項を條約化すべき要綱案は、七十億ドルと發表された、ルーズベルト大統領が取

【東京十二日同盟】泰佛印國武器貸與法案實施の爲め、十二日七十億ドルの豫算を要求するメッセージをレイバーン下院議長に發附する旨發表する

【ワシントン十一日同盟】ルーズベルト大統領は、十一日と同時に、次の如く語つた

議會の記者團會見の席上、對英武器貸與法案實施の爲め、十二日七十億ドルの豫算を要求するだらう、然しても七十億ドルの豫算額は、本會計年度中の必要を充して餘りあるものである

武器貸與案に基き 米、七十億弗の豫算要求
十三億弗は議會の協贊不要

【ワシントン十一日同盟】武器貸與法案は、十一日ルーズベルト大統領の署名を得て、愈々正式成立を見たが、これより先きルーズベルト大統領が本法に基き、直ちに議會に要求する豫算額は、七十億ドルと發表された、ルーズベルト大統領が法案の中立に關する豫算を發表した事は對英援助の具體的方法が既に決定されてゐる事を物語るものと見られてゐる

泰、佛印全權 暫らく東京に滯留
調停事項の條約化行ふ

【東京十二日同盟】泰佛印國境紛爭東京調停會議は、十一日の署名を以て一應終了を告げたが、愛染を見た調停條項を條約化すべき要綱案は、七十億ドルと發表された、ルーズベルト大統領が取

米空軍大編隊 英國援助のため待機
武器彈藥、戰車も發送準備

【ワシントン十一日發】（UP電）ブルガリヤ、トルコ國境には獨の大軍が待機集結中であるが、と總統はイ・ウ・トルコ首相に宛て「トルコは英國と手を切るべし」との勸告書を發達したので首相は臨時議會に出席、トルコの對獨英感度を聲明するため、本日秘密閣議を開き協議の結果、トルコは英側に加擔してその運命を共にすることゝなつたものゝ如くである

獨の勸告斥け トルコ英と共に抗戰か

【イスタンブール十一日發】（UP電）ブルガリヤ、トルコ國境には獨の大軍が待機集結中であるが、と總統はイ・ウ・トルコ首相に宛て「トルコは英國と手を切るべし」との勸告書を發達したので首相は臨時議會に出席、トルコの對獨英感度を聲明するため、本日秘密閣議を開き協議の結果、トルコは英側に加擔してその運命を共にすることゝなつたものゝ如くである

駐勃英公使等に 爆彈の御見舞

【ベルグラード十一日發】（UP電）ブルガリヤ首府ソフイヤ市より逃亡して來た英公使ランゼルは當市到着、パラセホテルに投宿後もなく同ホテル內に於て爆彈を投擲され、大爆發をなし建物を破壞した、即死者三名、數十名の負傷者を出した、英公使一行は幸に難を免れたが、右の行爲は同公使等に向つて行はれたものと見られてゐる

トラシア住民 全部避難終る

【アンカラ十一日發】（ロイター電）ブルガリヤ國境トラシア地方の住民は、獨軍侵入の報に戰々兢々たるものあり既に全部は他へ避難した、同方面よりサロニカに至る線はギリシヤ軍がその防備を强化し獨軍侵入に備へてゐる

駐勃英公使等に 爆彈の御見舞

【ベルグラード十一日發】（UP電）ブルガリヤ首府ソフイヤ市より逃亡して來た英公使ランゼルは當市到着、パラセホテルに投宿後もなく同ホテル內に於て爆彈を投擲され、大爆發をなし建物を破壞した、即死者三名、數十名の負傷者を出した、英公使一行は幸に難を免れたが、右の行爲は同公使等に向つて行はれたものと見られてゐる

トラシア住民 全部避難終る

【アンカラ十一日發】（ロイター電）ブルガリヤ國境トラシア地方の住民は、獨軍侵入の報に戰々兢々たるものあり既に全部は他へ避難した、同方面よりサロニカに至る線はギリシヤ軍がその防備を强化し獨軍侵入に備へてゐる

米空軍大編隊 英國援助のため待機
武器彈藥、戰車も發送準備

【ワシントン十一日發】（UP電）ブルガリヤ、トルコ國境には獨の大軍が待機集結中であるが、と總統はイ・ウ・トルコ首相に宛て「トルコは英國と手を切るべし」との勸告書を發達したので首相は臨時議會に出席、トルコの對獨英感度を聲明するため、本日秘密閣議を開き協議の結果、トルコは英側に加擔してその運命を共にすることゝなつたものゝ如くである

獨の勸告斥け トルコ英と共に抗戰か

【イスタンブール十一日發】（UP電）ブルガリヤ、トルコ國境には獨の大軍が待機集結中であるが、と總統はイ・ウ・トルコ首相に宛て「トルコは英國と手を切るべし」との勸告書を發達したので首相は臨時議會に出席、トルコの對獨英感度を聲明するため、本日秘密閣議を開き協議の結果、トルコは英側に加擔してその運命を共にすることゝなつたものゝ如くである

文武官六千余名に 定期叙勳の御沙汰

【東京十一日同盟】異き邊り文武百官六千百六十五名に對し定期叙勳の御沙汰あらせられた、主なる者左の如し

陸軍中將 功五級 上村清太郎
同 正四位勳一等 土橋一次
勳一等 授瑞寶章 各通

綿布 柏場

綿布後調寄り四五、四七四五
五〇八五、五二五五、五一四五、五三九、五五一

時の言葉

兵器廠から參戰へ

昨年十二月二十九日の爐邊閑談に於てルーズベルト大統領は「民主々義國援助のため米はその兵器廠となる」旨を宣言したが、この宣言を實際的に運用する點に、國武器貸與案は上下兩院及び民間有力筋から米國を戰爭の渦中に投ぜしむるものとなし、相當の反對論が擧がつたが前ど嚴審通り今回可決され、大統領の署名も終つたので即時効力を發生し、英國は國よりギリシヤ支那までも大々的に武器軍需品援助が行はれることゝなつた。

これによつて米國が參戰するかなど云ふ問題はもう問題にならない、米國はもう實質的に參戰してゐるのであり、宣戰布告の如きは戰爭段階から脫離されたのだ。既に多數の軍艦や飛行機、武器彈藥等が英國へ送り出されるべく米の空陸各港に集結、艦艇が待機してゐる、その外米國內に押留されてゐる外國船を差押へて英へ提供することも可能であらうし、自國艦隊護衛の下に自國船で武器軍需品を送ることも實現するであらう、殺到の危機は紙一重に迫つた、米は參戰のコースを驀進し始めた、そして現下の戰爭は世界戰へとその相貌を變へるであらう。

外務辭令

【東京十二日同盟】外務部付

大使館一等書記官（英國） 內山 清

任 公使館一等書記官 泰國在勤を命ず

外務書記官 藤村 信雄

任 大使館一等書記官 中華民國在勤を命ず

外務事務官 東光 武三

任 外務書記官 南洋・第二課長を命ず

興亞院書記官 永井 海一

兼任 總務部事務官 天津在勤を命ず

個拜 白井 健

任 大使館三等書記官 アルゼンチン國在勤を命ず

外務書記官 廣田 洋二

調査部第五課長を命ず

餘錄

◎十一日神戶入港着和丸には新嘉坡、香港、マニラ方面から引揚げた邦人八十名及び婦女數があつたが、船員の話では各寄港地英官憲の日本船に對する行動は實に不快であつたと

◎編快速艦の活躍は目醒ましいものであるが、既に英驅逐艦四十三隻を血祭りに上げてゐる、內二隻は去る七日大西洋上に於て英艦船隊襲撃の際撃沈されたものであると

上海爲替

【上海十二日同盟】上海爲替前引け、對米、對英共變らず、東票五十七円四の一賣り、五十一円二の一買ひ

獨潛水艦隊 春季攻勢の火蓋切る

【倫敦十一日發】（UP電）猛活躍を開始せるが、英海軍當局發表によれば、獨潛水艦隊は春季大攻勢に備へてゐる

蘭印の全船舶 政府の統制下に置く
六割は對米貿易用

【バタビア十日同盟】蘭印政廳は今回蘭印に於ける全海運會社及び海運關係會社を政府の直接統制下に置き、四月中に使用し得る全船舶の六割を對米貿易用に留保すべき旨指令した

泰國首席全權 ワンライ・タイヤコン

日本帝國關停委員 外務大臣 松岡洋右殿下

（傍點分電又切れ）

泰國首席全權 ワンライ・タイヤコン

日本帝國關停委員 外務大臣 松岡洋右殿下

（傍點分電又切れ）

二人草三郎
（五十七）
光葉（四）

小川 未明 挿絵 小堀 甚二

光葉が、慈明寺店の火の浪を添へて、使ひの者に屆けさせ、松太郎の待つてゐる桝見屋の二階へ來はしたのは丑刻を過ぎてからだつた。

待ちくたびれた松太郎が、飛び立つ程に悅んだのも、無理はない。

「お光葉ク……」

「お待ち遠さんざました」

「よ、よく來てくれた。それで、手紙は見てくれたであらうか——」

「はい……それも妻はといへば、わちきゆえ、何とも申し上げやうもありません」

「それで、私はお前に一目逢つて、遠いところへ身を隱すか、いつそ一思ひに死なうかと——」

「まア、待つて松さま！」

「え、待つてとは？」

「あい。——實は松さま、妾は

「か、忝ない！ 何といふ悅しいお前の心根、では濟まぬが、光葉！ この御から一緒に身を隱してくれるか？」

「あい。愛曾は疾うに決めて呼りんす。で……何ういふ手管に——」

「差し當つて——これといふ——あ、さうだ、それでは今度樣名の御本坊へ御役者へになつた以前の御主人の衣の柵にお縋りしよう、御本坊に賴み込めば、そこは役人の手さへ屆かぬ御朱印地、それに以前の御主人は私を殊の外目をかけて下すつたお方だし、何とか身の振り方をお考へ下さることゝ思ふ、少し遠いがそれではこれから上州榛名山まで——」

「妾を連れて逃げてくんなますか？」「光葉！」

「松さま！」ぢつと見交す、四つの瞳に、おのがじし、違つた意味での涙がキラリと光つた。

と、この時だつた。

誰かそつと二階へ忍んで來る人の足音がして、すつと部屋の隅へ一つの包みを差し入れて、その儘バタ〳〵と階段を下りる氣配がした。

「おや、何だらう。あれは」

と、松太郎が

「梅ヶ枝さま品さま」

責任者間の理解こそ
新時代外交の要諦
外相 渡歐決行の意義語る

松岡外相

【東京十二日同盟】松岡外相は四月初に先立ち、渡歐の意義につき、左の如き談話を發表した

古い時代の外交は非常に重要な條約または國家の締結等の場合でも、その當の責任者である外務大臣は、お互に親しくその濃霧に接したことは殆どなく、總て大公使一任で濟んだかも知れないが、これからの外交はそれだけではいけない、時と場合、事と性質によってはもつと飛躍的に親しくとも當の責任者である外務大臣がお互に膝つき合せ肚藏相照して話すと云ふことが絶對に必要となつてゐる、現代外交の性質が一國の興廢を決する重大要素となつてゐる今日に於ては、この責任者同志がお互に意見知りであり、氣心を知り合ふものであると云ふことが如何に大切であるかと云ふことは明らかである、自分は今まで獨逸の元首並に外相、イタリーの外相と親しく相會する機會を得なかつたがこれは前述の理由によつてもまた三國條約締結の當の責任者としても甚だ好ましくないことで、今回の渡歐決行となつた譯である、從つて自分の今回の歐行はベルリン、ローマが主であつて兩國首腦者と會つて親しく帝國外交の本質を傳へ、樞軸陣營の聯絡提携を愈々緊密にし、以て三國同盟の目的たる世界平和及び世界新秩序の建設に貢獻し得るやうとつくり話て來る心算である

——◇——

全世界に示する
日獨伊同盟の眞價
獨逸海外通信の報道

超短波

東條陸相參內

東條陸相は十二日午後一時五十三分、宮中に參內、天皇陛下に拜謁の上、所管事項につき御進奏上、同二時〇二分御前を退下した

樞密院會議

十二日午前十時より宮中樞密院會議室に於て樞密院會議を開催、松岡外相より約二時間に亘り泰佛印間紛爭解決までの經緯、ソ聯並に米との關係並に歐獨の經緯について說明した

西尾大將神戶へ

前支那派遣軍最高指揮官西尾大將は十二日午後二時長崎に到着、同四時同じ船で神戶に向つた

川村少將歸還

南支方面で赫々の武勳をたてた川村少將は基隆から高千穗丸で下關に到着、同じ船で神戶に向つた

黑部鐵橋を一米半引上げ

黑部川の鐵橋は明治四十三年竣工、今日に及んでゐるが、土砂の埋まり、水まで一米と云ふ危險な狀態になつたので一米半引き上げる事になり近く工事を開始する運びとなつた

學生の勤勞奉仕

來る十五日から二週間學校の休みを利用して全國各大學、專門學校から選拔した一萬名の學生を修練道場に收容、耕地整理、勤勞作業に從事せしめ、增產運動の一翼となつて實地勤勞する事になつた

產業報國會

全國に五百万人の會員を有する產業報國會では毎月一日、十五日の二回機關誌を發行する事にした

ワワン殿下故國へ放送

泰佛印協定の成立した十一日泰國首席代表ワワン殿下はピブン首相と國際電話で交歡した後、午後十時二十五分放送局に赴きAKのマイクを通じて故國へ放送された

全世界を破壞する危險
原子爆彈の完成近し？
◇—佛國テイボー博士が發表

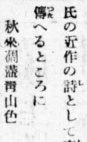
【ベルリン十一日同盟】獨逸海外通信は、松岡外相訪獨の意義を強調すると共に、その目的に關し次の如く報じてゐる

松岡外相ベルリン來訪の意義は重大で、當然全世界の視聽を敎してゐるであろう、然もこの訪問が歐洲並に極東の重大時局最中に行はれる事は三國同盟國間の緊密且つ友好的協力がどう云ふものであるかを示す有力なる證左である、松岡外相は訪獨中獨逸當局と同盟條約に規定された各種問題並に同盟國の協力が、單に政治的のみならず、軍事的、經濟的問題にまで及ぼさるゝ事は周知の事實で、これは既に各方面に亘り具體的の形を探つて行はれてゐる、日本外相の訪獨は、三國同盟が世界歷史上最も有效なる機關であり、要因である事を全世界に對し、重ねて强調するものである

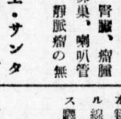
——◇——

【東京發】原子の爆發に關する研究は現在世界物理學界の問題となつてをり、殊にこの原子爆彈を利用する「原子爆彈」といふものが戰爭の新しい武器として使はれるかどうかが注目の的となつてゐるが、この問題につき佛國のソルボンヌ大學物理學敎授ジャン・テイボー博士はその完成近きにありとして次の如き談話を發表した

原子爆彈はこゝ二、三年のうちに實現するだらう、破壞物質を人工的に爆發せしむべき方法が二、三年內に科學によつて完成されるのだ、しかしわれ〳〵はどこの國でもこの原子爆彈を戰爭に使用することを禁じたい、これは全世界を破壞する危險があるからだ



汪氏と陳璧君女士
興亞の大道に巨人として輝くまで
……荊棘の四十年……（下）



劇的な在氏の生涯のうちでも最も有名なのは、北京における攝政王暗殺王暗殺を計畫、彈を携帶して暗殺せんとした事件である。時は一九一一年一月、この時には女士も入京してゐた。爆彈を鐵製の西瓜の形の容器にさめて運ぶことを提案したのは、實に女士であつたといふ事破れて在氏は三月捕へられ下獄した。陳女士は日本の新聞でこのことを知り、驚愕し直にパナンに赴き、胡漢民らとともに救出資金を集め、間もなく出獄した在氏の生涯のうちでも最も有名なのは、北京における攝政王暗殺王暗殺を計畫、彈を携帶して暗殺せんとした事件である。時は一九一一年一月、この時には女士も入京してゐた。爆彈を鐵製の西瓜の形の容器にさめて運ぶことを提案したのは、實に女士であつたといふ事破れて在氏は三月捕へられ下獄した。陳女士は日本の新聞でこのことを知り、驚愕し直にパナンに赴き、胡漢民らとともに救出資金を集め、

——◇——

女士

氏夫人と共に女

は昨年九月陳公博

を携へ、飛行機を驅つて北京に秋色を探つたが、汪氏救命運動の當時を顧みて今昔の感に打たれたことであらう。汪氏の近作の詩として支那紙の傳へるところに

秋來凋盡胥山色
我亦添顱日

獨行兎々已堪悲

說是大荊却棘何歸

云々の句が見える。然し乍ら秋既に逝いて冬近く、冬來りなば春また遠からず、今新しく一億の友を得て共榮の大義を說き、東亞再建說への新しき出發が始まらうとしてゐる汪氏と陳璧君女士の相携へての二十九年、たゆまざる理想への前進が再び足音高く聞かれるであらうことを確信する

——◇——

求人

市內配達人一名
年少
年半日勞働勉學ニ適ス
御希望の方は午前七時までに本社工場へ御來談下さい

時報社

急告 養蠶家へ

十五ケ年間經營の完備せる所歸國のため破格的廉賣御希望の方は早く御來談を待つ但し同邦人にて眞面目の人に限る當所は既に三家族成功の幸運地 郵國十三號所下車四キロ米

小川熊太郎

貸部屋

プラサ・アルメーダ・ジユニオール拾九番
（テアトロ・サンパウロ橋）

▼風呂桶

安價迅速其他大工仕事一切
聖市コンデ街五七
電話 二—八三三四

赤星賢一

洗濯工場讓度し

洗濯機 脫水機

給水排水設備完全
R. Amaral Gurgel, 176

Dr. R. P. Silva
Cirurgião Dentista

齒科

太久保

聖市イルマン
シンプリシアナ街
一五〇番二階

梅香酒

釀造元
リベロン・ピーレス縣
清酒

在サンパウロ
大日本帝國
總領事館

昭和十六年三月三日
領事 納平造 宇筑
領事 助敏 奥崎松
領事 藏千並 坂榎
領事 郎太福 小（若しくは）
領事 郎太福 上野武一
領事 郎太福 津野瀨龜一
領事 郎太福 津野瀨龜一
領事 郎太福 津野瀨龜

（日曜木）　日三十月三年六十和昭

寶庫アマゾン河發見 四百周年記念祝賀會終る

去る十一日アマゾン河發見四百周年記念祝賀會は伯國大使館附武官として數ケ年東京に在つたルイス・アウグスト・ブランコ・デ・アレンカストロ大尉はこの程「輪の北米日本大使館附陸軍武官中佐に榮轉し日本生活と離別する興味深き日本生活」と題する興味深き講演を日本人會館で催した。

◇◇◇

去る十一日リオ港に入港したぶえのすあいれす丸で第三の四國移住者を乘せて來伯する船は來る三月廿六日神戸港を出帆し四月廿日サントスへ下陸した

◇◇◇

北巴ロンドリーナ市自動車運轉業内田光造氏留守宅に、羽目板を打破つて強盜忍び入り上等タイヤ壹本、價格八百餅と懷中時計壹個を奪取逃走した

◇◇◇

リンス市唯一の寫眞員店木村イワラ君經營のアオ・エポルテ・リネンセは、家屋改築のため止むなく從來と同じ通りの少し上手へ移轉した

◇◇◇

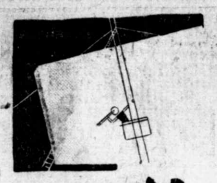
カンポス・ド・ジョルドン同仁會施療診療所には、現在男患

新しき土を拓く人々 (8) 南樹

日伯關係の黎明期

資本

—八—



金十万円、横濱に本社を置く日本移民會社の業務擴張爲め内義雄は、明治二十年（一八九七年）十一月設立、數多の折衝を經ねた末アンデエロ・ヒオタ商會との間に日本移民誘入に關する假契約を取り結んだ。其重なる條項を擧げて見る。

第三條　サントス又はリオ・デ・ジャネーロ港竝成年（十二歳以上）一人に付九磅、未成年者には滿額移民に適用するものと同額を支給す

第五條　此の契約に基く移民はサンパウロ、リオ・デ・ジャネーロ及ミナス・ジエラス州に配り使役す

第六條　各組の移民輸送は一千人乃至一千五百人とす

本契

約は東京にて調印し始めて効力が、これはブラド・ジョルダン商會と東洋移民會社との契約失敗や、在伯帝國公使館側の不利益なる報告が祟つて、拆角の島内の努力も實現されるに至らなかつた。

一體ヒオリタ商會は、日本移民輸入に付何等政府のオトリソンを受けて居る證據が州島商務官の報告などに顯はれて居るにも拘らず、日本政府は何等の保護を與へず、又何等の交渉もしない。恐らくヒオリタ商會は巴州政府の第三百五十六號の入國移民渡航費補給國民中にアメリカ人（單にアメリカ人となつて居るが、甘實はカナダ人を指したものである）一万人を許可して居る其内に日本人を入れようとしたのであらう。成程者一人の渡航費補給額を九ポンドとしたものがある。この契約などもブラドジョルダン商會の契約の仕方と同じく「餌には何となるだらう」と云ふ遣り方である。實際あの頃は何とか成らうと思つて遣つたことが、どうにかこうにか何とかしてしまつたことの出來た例もファーゼルの時代であつた。

島内

と契約したア・ヒオリタ商會と云ふのは、サンパウロ市ラルゴ・ダ・セの現社のカイシヤ・エコノミカ・フエデラル（中央貯蓄銀行）の大建築のある所にあつたコロニヤ時代（現在のは二度目の新築である）の雜物のなかに、カンピヨなども遺る伊太利移植會社の代理人が本職であつた。サンパウロ市に最も多くの西洋移民を誘入した契約者であるが、何時頃か判然た記憶はないが伊太利の契約移民が來なくなつてから、間もなく他の同業者と合併した樣に覺えて居る。紀念すべき此の商會の名を今日聽見されないのは何となしに物足りない樣な氣がする。

島内

の契約を耳にして、森岡移民會社が代理人田中貞吉をブラジルに派遣した。田中は一種の人物で大きな所があつたが、ブラジルに着くや否やペルーの砂糖會社からのプロポーストがあると無電報に接すると、彼はブラジルに一週も與へずしてペルーに飛んで行つた。明治三十二年ペルーに一回移民を送り、北米加州から佐々木なども云ふ青年をつれて來て、カニテ農園の監督とし、日本から博文館發行の「軍戰爭」に五人の文士に贈へられた博文中を贈者として送つたなど、田中としては從來の移民屋と違つた所を見せたが、ブラジルの將來性に對し見透しのつかなかつたことは遺憾である。若しブラジル移民が田中に依つて經營されたとせば、我がコロニヤの現狀は決して今日の如く貧なエレメントでなかつたらう。もう少し、明るく、もうゆし人材を網羅して居たらうと思ふ。私が明治三十八年ペルー通過の折りには彼はもう故人であつた。

印刷物は……

廉價、迅速の時報社へ！

新協定締結のため 珈琲生産州會議開く

（リオ十日發）來る六月卅日を以て期間滿了となるべき一九三九年二月廿八日締結の、珈琲生産州間協定を更新すべく、アルクール・ソウザ・コスタ蔵相は、來る二月廿二日、リオ市、內閣會議室に於て珈琲生産州會議を召集、新協定を締結の筈である

頸動脈を見事に切斷 不可解な謎の怪死！

廿歳の青春を散らす

（リオ十日發）來る六月卅日を以て期間滿了となるべき一九三九年二月廿八日締結の、珈琲生産州間協定を更新すべく、アルクール・ソウザ・コスタ蔵相は、來る二月廿二日、リオ市、內閣會議室に於て珈琲生産州會議を召集、新協定を締結の筈である

一邦人青年

北パラナ・コルネリオ・プロコピオ植民地の邦人青年コロノ某の弟（二十歳）は、去る九日一日午後二時頃自宅に於て突然發作、カネベラを握つて我れと我が喉部を眞一文字に掻き切り、見事に頸動脈を切斷した上、何のために已れはコロニヤから數町ほど離るカフェザールまで辿り行き、不明に一不可解な謎の怪死とされてゐる

案じられる「タウバテー」號 スエズ運河で御難？

リオ方面では、去る十日朝、ブラジル貨船「タウバテー」號がスエズ運河で不慮の災厄にあつたとの報が傳らぬであるが、ロイド・ブラジレイロ社に屬する同船は、昨年十一月ギリシヤ向け多量の珈琲を積載リオ港を出帆したもので、貨物はポートサイド港に揚陸される筈であつた、右に關してロイド社々長は未だ何等の情報も受けゐないが、三日迄にポートサイド港に碇泊してゐた事は事實である、當會社からの同港に港命は未だ發してゐないと、語つた

締切今月一杯 まだ廿數支部足らぬぞ

"未屆の支部は早く" 局長の好意無にするな

那人體育協會ではスポーツ新法令に準據の本年度地方支部の新登錄をなす必要上既に各地へ至急登錄方を呼びかけたが、當局より許可を受けた七十支部設置の中、現在迄に手續を了した支部は四十四支部だけである、ところが州體育局では手續受付を去る三月五日で締切つため、那人體協ではまだまだ登錄を必要とする支部が多數殘つてゐる關係上、體育局と交渉の上パチリヤ局長の好意により本月一杯締切日を延期して貰つたが、未登錄の支部は大至急手續を必要とする、未屆けの場合は地元の競技關係者が不能は勿論今後大會の出場權まで奪失する樣な事になるから、未屆の支部は兩體協、所在地、會長、生來の個人又は第二世、理事長二名申記の上、登錄費四日ミルを添へ體協本部藤井正義氏宛申込めばよい事になつてゐる體育協會の支部で許可證に關する問合せがあるが、目下パチリア局長病氣の爲め遲くともこ一週間內には下りる筈である、現在登錄濟みの地方支部は

サ・タ・ド・リオ・パルランシヤリア、プ・プルデンテ、ペトレド、カ・デ・ジョルドン、サ・アンドレア・マツシヤード、パレツトス、パウルー、パラグワス

五拾歳の老水泳家 "四百キロを百廿時間で泳ぐ"

アルゼンチンの當年五十歳になる水泳選手ベードロ・カンヂオッケ氏は、去る十日ロザリオ、ブエノス間四百キロの橫斷水泳を試み、午前八時十七分パラナ河に飛び込み、ブエノス市へと向つた前選手は十一日午後五時半ぐもヴイラ・コンスチタシオンを通過、順調に力泳を續けてゐるが、ロザリオ、ブエノス間四百キロを百二十時間で泳ぎ切る豫定である

河童顏負け

急募 指物大工 數名

高給と優遇

光嶋美術木工場

Parque Peruse - Casa Verde - Rua E, 83

求人

葡語の解る 事務員一名

（年齢ヶ不問）

希望者は履歴書持參の上面談ありたし

伯剌西爾時報社

單行本 辭典 葡和

高價に買ひます

豐吉書店

聖市 郵函 一三 電話三—四五三八

告社

CENSURA SANITARIA

AOS NOSSOS ANNUNCIANTES

De accordo com o decreto federal, que estabeleceu a Censura Sanitaria, os originaes sobre propaganda de productos medicinaes devem ser censurados no Serviço de Censura de Publicidade Sanitaria cu de artigos que se relacionão com a saude do Departamento Estadual de Imprensa e Propaganda, á alameda Barão do Rio Branco, 343 Telephone. 5-1577.

Para publicação, nos jornaes de qualquer annuncio referente a productos pharmaceuticos, torna-se necessario o preenchimento daquelle requisito legal.

Fara esse fcto chamamos a attenção dos nossos annunciantes e dos agentes de dublicidade do "Noticias do Brasil"

聯邦法令の定むる處に依り今後新聞紙上に揭載さるゝ醫療藥品の廣告は廣告原文に醫課文を添へ聖市アラメーダ・バロン・ド・リオ・ブランコ三九三番の州新聞宣傳局へ提出し揭載認可を得、新聞紙上へは認可番號竝に、譯、兩廣告文を併せて掲載せねばならぬ事になりましたから、右該當製品販賣の廣告主各位に謹告申し上げます。

急告

來る十四日故中村神父一週期に當り赤誠込められし石碑も二三日前見事に出來、ソロ線ア・マツシヤードに於て當日は大ミサを行ひ赫禱式後墓參致す事に相成居りますから各位に謹告致します

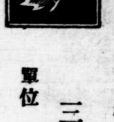
ヨゼフ會

棉の相場

サンパクロ棉花取引所建値

三月十一日

單位 十五キロ



	買値	賣値
四級	三九、五〇〇	四〇、〇〇〇
五級	全	全
六級	全	全

貴族生活を好む ポ國男爵夫人の自殺

ポヘミヤ風の 嘗ては華やかな外交界に咲く

といふ記事の一案である

マリリア、レヂストロ、ビグア、イタリリ、アラサツーバ、セドロ、モヂ、グルバライソ、リンス、ブ・ウエンセスラウ、サントス、オーリンエヨス、スザノ、コチア、チエテ、イタケーラ、アンナヂアス、ブロミツソン、カフエランジア、パストス、グワラサイ、プログレッソ、アバレー以上四十四支部である

リンスにもスリ

大膽不敵の盜賊橫行 被害者殆ど邦人！

最近リンス市內にも三回押し入つたが、病室に現金專門の盜賊が橫行し、被害者が殆ど邦人で、ある處から同盜賊は薄氣味惡い暗影を投げてゐる——去る五日夜半、井手の手口同樣切り開いたが、金がなかつた爲め高其の他の品を竊取逃走した、この人を嘆つた大膽不敵の行爲には同氏も惱み拔いてゐるが、手口が巧妙で何等證據を殘さぬ爲め未だに手掛りなく、金子專門から見るに同一犯人の所業と認まれてゐる

重要商品市況

三月十一日

買値　賣値

○バタタ　六〇キロ

アマレーラ　エスペシアール　五二、五三、

○小麥粉　二級　五〇　五二、

ファリンニヤ　マンヂオカ　五〇キロ

△キレーラ　三三　三四

△メイオ　三三　三四

カテテ

△エスペシアール　六二　六三

スペリオール　ノミナル

ポン　ノミナル

マモナ　一キロ　五六〇　五八〇

セボーラ・リオ・グランヂ　七三　七五

バンエヤ　二〇キロ　三一〇

蔬菜市場 三月十一日

（コチア産組調べ）

トマテエスペシアル　三二

プリメーロ　一二　一三

セグンド　一〇　一二

レポーリオ　一〇　一〇

ピメントン　一〇

バージ　一二五　一三五

エルビーリア　二〇　二五

ポブリンニヨ　二〇　二五

ベビーノ　三〇　三五

人參箱入り　一二五　一三〇

バタタ　一〇　一二

ナス　五、九

玉子　三、七〇　四、〇〇

△ポン　レグラール　一二　一三

レグラール　ノミナル

ブランコ　一二

エスペシアール　七一　七三

スペリオール　六六　六八

△ポン　レグラール　ノミナル

オンダベルデ、ツパン、ポンペイア、プ・ペルナルデス、マルチノポリス、ペドロ・パロス、クラビニヨス、イツペラーバ、イガラパーバ、グワラ、ラピンエヤ、

棉つみ稻刈・漁師になくてはならない 防水衣類

朝露の作業に、雨天の稻刈用として各地で用者より絶大な賛辭を受けつゝある次の防水衣

防水サイヤ　一着二十二針

防水カルサ　一着　十九針

防水輕便カッパ　一枚　二十針

防水カッパ　一着五十五針

特長

カッパは油製なれば絶對に雨水を防ぐ點

ブリンの上等地で丈夫な點、安價の點

時報商事部

YOKOHAMA, LTD.
...e Bank, Ltd.)
No. 23
Rio de Janeiro

郷里送金
御郷里への御送金は送金人一人受取人一人に付き毎月二口迄可能せられ五分（五%）

よくきく、のみよい 肝油 ハリバ

Redação — Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4370
Caixa Postal, H

Director M. Samasima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno ..... 60$000
" Semestre ... 30$000
Numero do dia .... 300 reis

Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIV — S. PAULO — QUINTA-FEIRA 13 de MARÇO de 1941 — DIARIO No 2427

EXCURSÃO DO SR. DR. ADHEMAR DE BARROS AO LITORAL-NORTE DO ESTADO

O sr. dr. Adhemar de Barros, Interventor Federal, será seguido, amanhã, para o litoral-norte do Estado, realizando a sua primeira viagem de inspecção e estudo áquella zona paulista.

Nesta excursão, conforme já noticiamos pormenorizadamente, o Chefe do governo far-se-á acompanhar dos Secretarios do Estado, Directores de departamentos e demais altos funccionarios da administração estadual, além de representantes da imprensa especialmente convidados.

A partida do sr. Interventor Federal e sua comitiva está marcada para amanhã, quarta-feira, em carro especial ligado á composição das 2 horas, da S. P. R.

Foi organizado o seguinte programma para a viagem que o dr. Adhemar de Barros vae iniciar quarta-feira.

Dia 12 — A's 23 horas partida de Santos a bordo do «Itapema».

Dia 13 — A's 6 horas chegada a S. Sebastião, visita ao porto e a cidade, ás 23 horas partida para Fortaleza. Visita á cidade A's 21 horas, partida do vapor.

Dia 14 — A's 6 horas chegada a Natal; ás 9 horas inauguração do porto; ás 12 horas partida de Natal; ás 14 horas, chegada á Lha Anhieta; ás 17 horas, partida da Ilha; ás 21 horas, chegada a São Sebastião.

Dia 15 — A's 8 horas, partida para Caraguatatuba; ás 9.20 horas, chegada a Caraguatatuba; ás 14 horas, partida para S. Paulo; ás 18 horas chegada a São Paulo.

Cooperativismo escolar no Brasil

RIO, 10 (Via Vasp) — O cooperativismo escolar exerce grande poder educativo na formação da mentalidade infantil. No Brasil, esse movimento ainda está, pode-se dizer, na phase experimental.

O Serviço de Economia Rural do Ministerio da Agricultura registou, em 1937 apenas 6 cooperativas escolares em todo o paiz, e em 1940, 117 com 15.648 associados, sendo 45 em São Paulo, com 6.534 socios; 10 em Pernambuco, com 6.531; 20 na Parahyba com 2.077; 6 em Minas Geraes com 197; 5 no Rio Grande do Norte, com 771; e 1 no Ceará, com 238 associados.

São Paulo, Pernambuco, Parahyba e Rio Grande do Norte marcham na vanguarda desse movimento, em virtude do amparo prestado pelos respectivos governos.

Das 117 cooperativas escolares registadas, somente 44 enviaram dados até o momento. Estas accusaram, no anno passado, o movimento geral de 51 contos de réis.

O cooperativismo escolar, já muito desenvolvido nos Estados Unidos, precisa ser disseminado por todo o territorio brasileiro, afim de servir de base á formação de uma mentalidade cooperativista mais social e generalizada.

Permissão para aviões estrangeiros sobrevoarem território nacional

RIO, 10 (Pelo telefone) — O ministro da Aeronáutica concedeu a necessaria permissão para que dois aviões militares dos Estado Unidos possam sobrevoar o territorio nacional, na zona do Canal do Panamá a Assunção, via Pacifico. Esses aviões conduzem uma tripulação composta de cinco oficiais e sete soldados.

Na viagem de regresso, os aviadores pretendem seguir o mesmo itinerário, se as condições atmosféricas o permitirem. Em caso contrário, seguirão a rota comercial da «Pan-American Airways», via Atlantico.

Tambem foi pelo ministro concedida permissão ao sr. Cliff-Wagner, para sobrevoar o territorio nacional, num avião de sua propriedade. O sr. Cliff não trará armas de fogo, nem rádio e nem aparelhos fotográficos. A sua viagem deverá iniciar-se em 16 de junho, na cidade de Melo, no Urugai, por toda a costa brasileira até Caiena, na Guina Franceza.

Director do Bureau de Propaganda do D.N.C. em Tokio

RIO, 10 (Pelo telephone) — Pelo vapor de Kobe, ao Japão, e trazendo 82 passageiros para o Rio, chegou a Yokohama, o Buenos Aires Maru. Por elle seguiu para regressar ao Rio, depois de dois annos de estada em Tokio, o sr. Alvaro Vida, director do Bureau de Propaganda do Departmento Nacional do Café, na capital nipponica. Varios amigos aguardavam a sua chegada vendo-se entre os presentes o seu irmão sr. Armando Vida.

Pelo mesmo navio chegaram o novo encarregado da embaixada japoneza, sr. Takehy Mori, e o consul Kobiyama, que foi consul geral no Rio.

A Fixação do Salário Minimo para os Condutores de Veículos de Transporte

O D. N. T. é de Parecer Que o Assunto Deva Ser Resolvido Em Convenção Coletiva de Trabalho

RIO, 10 (Pelo telefone) — O Sindicato dos Proprietários dos Veículos de Cargas e o Sindicato dos Trabalhadores em Transportes Terrestres, dirigiram-se ao ministro do Trabalho e á Comissão de Salário minimo, pleiteando a fixação do salário profissional de 560$000 para os condutores de veículos motoristas e 350$000 para os ajudantes e carregadores que trabalham em veículos de transporte.

A lei do salário minimo, porem, estabelece especialmente o salário vital, não cuidando em sua conta o salário profissional.

Despachando o processo o director do Departmento Nacional do Trabalho, em vista da impossibilidade de ser applicado a um salário profissional a lei do salário minimo, que visa especialmente o salário vital para todos os trabalhadores do país, determinou que a materia fosse regulada, quanto aos motoristas e ajudantes, por uma convenção coletiva, entre empregados e empregadores, na forma do decreto-lei que permite taes contratos de trabalho.

OS INDUSTRIAES E O IMPOSTO DE RENDA

A Federação das Industrias do Estado de São Paulo, desejando facilitar aos seus associados e syndicatos filiados á Federação das Industrias Paulistas, a apresentação de declarações de rendimento, solicitou, como nos annos anteriores, á Delegacia do Imposto de Renda em São Paulo a designação de um funccionario, para attendel-os, em sua séde á rua Quirino Bocayuva n. 22, 2º andar, das 13 e 30 ás 17 horas.

Para esse fim, foi designado o sr. Moacyr Goulart Cunha Caldas, que iniciando seu trabalho hontem, permanecerá no horario referido na séde da Federação, até 31 do corrente.

Distribuição das Quotas de 1940 do Fundo Rodoviário

Aprovada Pelo Presidente da República a Representação Que Lhe Dirigira a Respeito o Ministro da Fazenda

RIO, (Pelo telefone) — O chefe do governo aprovou a seguinte exposição do Ministério da Fazenda:

«O presidente do Conselho Nacional do Petróleo, solicita autorização para organização e relação discriminativas das quantias que cabem aos Estados, Districto Federal e Territorio do Acre, correspondentes ás quotas do imposto único recolhidas ao Banco do Brasil em conta especial sob a denominação de «fundo rodoviário dos Estados e Municipios», na forma do artigo 4.º do decreto-lei n.º 2.615, de 21 de setembro de 1940, no exercicio de outubro a dezembro do anno p. p.

«Julga a autoridade solicitante que, embora o mencionado decreto-lei determine que a distribuição dessas quotas, pelos entidades contempladas se faça por semestre vencido, seria conveniente providenciar pelo modo acima exposto, visto ter tido aquelle decreto-lei, sua vigência a partir de 1.º de outubro de 1940, convindo assim a distribuição das quotas desse primeiro periodo, para de janeiro de 1941 em diante se poder fazer a apuração semestralmente, de modo regular.

«O contador-geral da República, ouvindo sobre o assunto, opina favoravelmente ao pedido do Conselho Nacional do Petróleo, assim concluindo o seu parecer:

«Quanto á arrecadação efetuada no periodo de 1º de outubro ao fim do anno de 1940, é conveniente que tenha uma distribuição especial, como se fora um semestre, afim de que fique normalizada de vez a situação».

Este Ministério, do mesmo modo não vê nenhum inconveniente em que se proceda como sugere o Conselho. Vae, entretanto, figurar-se-á de resolver o modo julgar mais acertado.

PROHIBIDA A EXPORTAÇÃO DE METAES PRECIOSOS

A prohibição decretada pelo Chefe da Nação abrange tambem varios outros mineiros

RIO, 7 (pelo telephone) — O sr. Presidente da Republica assignou decreto-lei prohibindo a exportação dos seguintes productos manufacturados as disposições dos Decretos ns. 23.258, de 19 de outubro de 1933, 23.355 de 7 de dezembro de 1933, 23.884 de 19 de fevereiro de 1934, e dos decretos-leis ns. 201, de 30 de novembro de 1938 e 2.919, de 14 de fevereiro de 1941.

Metaes preciosos, em bruto ou nativo, amoedados, em barra ou em artefactos (ouro, prata, platina, irídio ruterio, etc.); Sucata de ferro abrangendo todo o ferro velho sob a forma de peças inferviveis; pedaços, limalhas, fibras inutilizadas, resíduos e retalhos de aluminio, chumbo, cobre, estanho, niquel, zinco e suas ligas, sob qualquer especie e de manufactura já inferviveis e passiveis de transformação nas industrias nacionaes; somente de cobre; ossos e dubos phosphatados, excepcionados os ossos longos ou duros, destinados a fins industriaes; os ossos de juntas para a fabricação de cola ou gelatina e os alimentos para animaes em cuja composição a farinha de ossos entre em proporção tal que a percentagem de acido phosphorico, calculado sob a forma de phosphoro tri-calcico não exceda de 26%.

O NOTICIARIO ESTRANGEIRO DO «NOTICIAS DO BRASIL» E' FORNECIDO PELA AGENCIA TELEGRAPHICA «DOMEI» JAPONEZA

CURSO DE APERFEIÇOAMENTO EM CARDIOLOGIA

Em prosseguimento ao programma do Curso de Cardiologia, falaram os drs. Silvio Bertaechi sobre «Pericardites e endocardites» e o dr. L. Mendonça de Barros, sobre «As lesões congenitas».

Hoje ás 8horas, o dr. Barros Silva falará sobre «A syphilis cardiovascular» e, ámanhã no amphitheatro do Departmento de cultura (predio Martinelli, 22º andar), o prof. Jairo Ramos pronunciará uma conferencia sobre «Affecções pulmonares chronicas não tuberculosas». Esta conferencia é publica.

Domingo ultimo, os medicos inscriptos no curso fizeram uma visita a Campinas, de que damos noticia em outro local desta folha.

SELLO SOBRE GRATIFICAÇÃO

RIO, 8 (Pelo telephone) — O Ministro da Fazenda communicou ao seu Collega da pasta da justiça que a gratificação recebida pelos membros da commissão especial incumbida dos estudos dos negocios estaduaes e municipaes incide no sello de 7% da tabella «A» do decreto n. 1.137 de 7 de Outubro de 1936. A sua cobrança, porém, sómente é devida até Outubro de 1939, ex-vi do art. 275 do Estatuto dos Funccionarios Publicos Civis da União.

CULTURA DE MAMONA

RIO, 10 (Via Vasp) — O desenvolvimento da cultura da mamona constitue um dos mais interessantes aspectos da evolução da economia rural brasileira. Pernambuco é, hoje, um dos maiores exportadores da baga de mamona. Segundo informações da Agencia do Serviço de Economia Rural desse Estado, somente em Janeiro ultimo, Pernambuco exportou, para os Estado Unidos 5.824.020 kilos de bagas de mamona, no valor de 2.714:412$720.

Foram tambem exportadas para Nova York 2.768 saccos de 60 kilos, procedentes da Parahyba.

LEIA O NOSSO

KODOMO NO SONO

Supplemento do jornal "Noticias do Brasil"

A INDUSTRIALIZAÇÃO DA MANDCHURIA PELO JAPÃO

HAMBURGO, fevereiro de 1941 — Correspondencia L. K. (Via aerea) — Por duas razões é a Mandchuria de grande interesse para o Japão: ella dispõe, em grandes quantidades das mais importantes materias primas para a defesa nacional, carvão e ferro e está, a em disso, situada perto do Japão, podendo-se portanto effectuar os transportes com um minimo de perigo diante da ameaça de actos hostis, da parte de um outro paiz. A organização de industrias na base das jazidas de materias primas da Mandchuria foi apenas possivel depois de fornecer a esse paiz, puramente agrario e insufficientemente servido por estradas de ferro, um systema de transportes modernos. Este objectivo, assumiu-o a S. M. E., isto é Companhia Estrada de Ferro Sul da Mandchuria, que abria caminho, de um modo geral, como companhia commercial japoneza, a expansão nipponica, ultrapassando-se decorrer do tempo, os limites da sua actividade traçados ao principio. Hoje em dia, é uma empresa de vulto maximo.

O desenvolvimento industrial de Mandchukuo se effectuou segundo as ideias do partido militar do Japão, realizadas graças á posição dominadora do exercito de Kwantung. Estas são caracterizadas pelo repudio de qualquer influencia especuladora na economia, pelo combate ao predominio do capital puramente particular, e pelo predominio dos interesses militares sobre os interesses economicos particulares.

Dahi ahi conseguiram impôr-se a fiscalização e direcção por parte do governo, realizada com todo o rigor. Ademais, o proprio Estado tem figurado como industrial, em grande estylo, na industrialização. As empresas fundadas na occasião, attrahiram alguns dos grandes concerns de familias cujos nomes, Mitsui Mitsubishi, Sumitomo e Yasuda, são mundialmente conhecidos, desenvolvendo-se uma cooperação cujas formas e methodos são de interesse geral, ultrapassando, no entanto, o espaço disponivel neste curto resumo de factos.

As pesquizas em torno das jazidas de minerio de Mandchukuo superaram todas as expectativas, até ao presente momento. Nos ultimos annos, a producção de todas as minas subiu gradativamente, numa proporção consideravel, pois descobriram-se jazidas desconhecidas, ao passo que as já conhecidas se mostraram maiores do que se suppunha. Segundo calculos recentes, as jazidas de minerio são sufficientes para uma producção annual de 5 milhões de toneladas, durante mais de 100 annos. Em muitos logares do norte da Mandchuria, acharam-se jazidas de ouro, mas, tambem esse metal não falta na parte sul do paiz. Metaes leves, de alta importancia para a industria e a defesa nacional, foram descobertos em quantidades e qualidades satisfactorias. A industria de aluminio a cargo de uma empresa particular, já está sendo organizada. A prosperidade das industrias mineiras de Mandchukuo resulta do facto de que até fins de 1939, 4.800 minas existiram ao passo que na occasião da fundação de Mandchukuo, a cifra correspondente importava em apenas 600.

Os projectos de industrialização da Mandchuria são muito amplos abrangendo, antes de tudo a organização completa de todas as industrias proprias para aproveitarem as materrias primas existentes, planejando-se a creação de industrias de machinas, de automoveis, aviões, fabricas chimicas e industrias de celulose. Ao lado de Mukden, Antung e Harbin, destinaram já no programma de construcção industrial, a região de Kirin, como futuro centro das industrias. O maior estimulo para o desenvolvimento da dita região é a construcção das obras hydraulicas no segundo rio Sungari, effectuada pelo governo dentro do molde do plano quinquennal e que será uma das maiores obras deste genero no mundo: sua construcção foi iniciada em 1932 e está quasi acabada. A capacidade total importará em 600.000 kw. A organização industrial na região de Kirin é, tambem favorecida pela existencia de carvão relativamente bons e baratos dos dois lados do Sungari, rio este que fornece quantidades illimitadas de agua boa para fins industriais.

De 1932 até 1937, capitães japonezes foram investidos, por meio de acções e emprestimos, num total de 1.3 bilhões de yens. O plano industrial quinquennal exige, a partir de 1937, um emprego de capitaes de 5 bilhões de yens, dos quaes cerca da metade será fornecido pelo Japão. Ainda que desde o inicio do conflicto com a China o capital japonez está sendo empregado na maior parte nas industrias do proprio paiz, não obstante faz-se mister um auxilio em grande escala, empreendimentos na Mandchuria. Pois são elles que abrem caminho ás mais importantes fontes de materias primas, para o bem das industrias japonezas.

農業

海水から肥料

加里や臭素が取れる

「科學日本」編

無盡藏ともいふべき東亞資源の開發とその工業化は擧國一致下わが日本のもつとも緊急な要求の一つであるが、輝く二千六百一年の初頭に、加里肥料も安心の出來る生產を擧ることとなり、多端なるわが國の肥料問題に一つの光明をもたらすこととなつた

加里は肥料として缺くべからざる物であるが、わが國では殆ど生產せず、もとしてアメリカ、アフリカ、ドイツなどから、年々實千万円づゝ輸入してゐたが一昨年四月民間からの寄附金により、設立された東京工業大學内の資源化學研究所ではこの海水からの加里製造に着目、所長東京工大教授加藤與五郎博士を陣頭にニケ年間、苦心を重ねて研究を續けた結果、つひに工大法（假稱）なる新製造法を完成、本年から新方法による製造に乘出すこととなつたものである

この工大法とは、從來までに知られてきたものであるが、この中に曾て三%の加里が含有されてゐるのを殆ど全部取收する方法でこの方法によるときは加里ばかりでなく、同時に臭素をも分離收することができ、さらさる物であるが、わが國では殆ど生產せず、もとしてアメリカ、アフリカ、ドイツなどから、年々實千万円づゝ輸入してゐたが一昨年四月民間からの寄附金により、設立された東京工業大學内の資源化學研究所ではこの海水からの加里製造に着目、所長東京工大教授加藤與五郎博士を陣頭にニケ年間、苦心を重ねて研究を續けた結果、つひに工大法（假稱）なる新製造法を完成、本年から新方法による製造に乘出すこととなつたものである

この工大法とは、從來までに知られてきたものであるが、この中に曾て三%の加里が含有されてゐるのを殆ど全部取收する方法でこの方法によるときは加里ばかりでなく、同時に臭素をも分離收することができ、さ

無盡藏の資源

無盡藏ともいふべき東亞資源の開發とその工業化は擧國一致下わが日本のもつとも緊急な要求の一つであるが、輝く二千六百一年の初頭に、加里肥料も安心の出來る生產を擧ることとなり、多端なるわが國の肥料問題に一つの光明をもたらすこととなつた

加里は肥料として缺くべからざる物であるが、わが國では殆ど生產せず、もとしてアメリカ、アフリカ、ドイツなどから、年々實千万円づゝ輸入してゐたが一昨年四月民間からの寄附金により、設立された東京工業大學内の資源化學研究所ではこの海水からの加里製造に着目、所長東京工大教授加藤與五郎博士を陣頭にニケ年間、苦心を重ねて研究を續けた結果、つひに工大法（假稱）なる新製造法を完成、本年から新方法による製造に乘出すこととなつたものである

この工大法とは、從來までに知られてきたものであるが、この中に曾て三%の加里が含有されてゐるのを殆ど全部取收する方法でこの方法によるときは加里ばかりでなく、同時に臭素をも分離收することができ、さ

これは名案

眞似て良い實驗

昨年から實驗を續けてゐる一伯人農家の報告を申上げる、棉作地方で二毛作を試驗である、即ち五月初め棉を六分通り摘み取つた畑に雨降りを利用してミリヨのプランター機を用ひてルアにムクナ（最近肥し豆と黒種）を播いた、棉は棉抜き機で抜取り、摘收した

根を抜く頃には件の豆が相當伸び冬季に生える雜草を完全に制御し去つた

次いで春耕期の雨と共に豆は花を持つたが、これは其儘耕し込み、再度の耕耘を行つて後今季の棉を播いてゐる

「今年の綿も大きいし、大分莢がついてゐるから去年より三割増收は確實だ」

とある、一寸面白そうな話ではある

土質と作物關係

大體の標準は？

砂質壤土＝根、にんじん、レボリヨ、胡瓜、フエジヨン類、バタチーヤ、白瓜、アスパラガス

砂土＝甘藷、西瓜、南瓜、牛蒡、南京豆

眞土＝トマテ、玉蜀、アーリヨ、乾燥瓜

粘質壤土＝なす、蕃、ピメントン、ほうれんそう、白菜、コーベフロール、みつば、里芋、かぶ

今から植る野菜物は大體右の標準で植て下さい

酸性の大嫌ひな作物は灰を入れたり、石灰を入れたりする必要があります、此の部に入る作物はなす、牛蒡、にんじん、えんどう、ピメントン

最も酸性を嫌ふ程度の激しいものは

ほうれんそう、玉ねぎ、アルファセ、フエジヨン、大豆、小豆、等

粘質壤土に無關係なものは甘藷、里芋、甘日大根、菜、そば等です

但しの土地は酸性が強いと思つて間違ひありません

三月中の業事

本格的に牧種が開始されるまでの小閑を利用して、今月中に農家が實行して良いこと數々を列擧する。但し大體暖地農家のこと、御承知あれ

蔬菜類の播本、ジヤツカー、フルタデコンデ、アバカテ、カジユー、ざくろ、マラクジヤー等の苗木仕立を目的に播き、苗は一番硫酸銅又はウースプルン消毒のこと

今月はサウーバ第二回の活動期に入るから蟻にやられる以前に植付けて人間の方が征伐を行ふべきである

稻刈取り跡を耕起して、コーベフロール、トマテ、胡瓜、冬野菜一般を植え込むと冬季間市に野菜缺乏の際良き金儲けになること請合ひ、但し霜の危險なきプレイションといふ相當厄介な條件つきである

西瓜の蔓もポツ〳〵用意して下さい、アリヨ植込みも季節